

発達支援リーダー研修 第7回 【支援編】

平成28年2月9日（火） 15:00～17:30

「子どもの発達をつなぐ支援」

京都府南丹保健所 全 有耳 氏

1) 年中児発達サポート事業について

《目的》発達障害の ある なし ではなく・・・

- ・子どもの苦手な所や集団生活へのなじみにくさをいかに理解するか。
支援の手だてをどうするかを考えていくこと（＝子ども理解と支援）
- ・子どもの長所や得意なところを 保護者や保育者とともに気づき 子どもが
自信を深めて就学へ向かっていくこと。（＝共通理解）
- ・子どもを支援するだけでなく 幼児期後半の子育て支援の一環として 子ども
をどう理解するか等について保護者と一緒に考える機会を作る事により育児
不安を軽減すること。（＝保護者支援）

《内容》市町村の人的支援 社会資源を活用し下記メニューを組み合わせて計画される

スクリーニング

基本メニュー・・・問診票

オプションメニュー・・・医師診察

事後支援

基本メニュー・・・発達クリニック 園巡回

オプションメニュー・・・発達検査 発達相談

ソーシャルスキルトレーニング

ペアレントトレーニング

《判定区分》

- ① 問題なし
- ② 園支援 園巡回支援の対象 必要に応じて専門的支援へ
集団生活上何らかの支援が必要だが園でのサポートの中で成長が期待できる児
- ③ 要支援 専門的支援（児 保護者） 園巡回支援の対象
集団生活上の課題があり発達の評価や個別支援の評価や個別支援が望まれる児
- ④ 管理中
＊ H17年度～H19年度 モデル事業として行う
＊ H20年度より本格的にスタート

《追跡結果より》

- ・本事業により「要支援」と判定される児は7～8%存在し うち2/3は3歳児検診
以降に発達の特性が顕在化していた
- ・子どもの発達は環境との相互作用により変化するが 幼児期に顕在化した特性への理
解と支援がある事で学校不適応及び精神医学的問題の発生の予防につながる

2) 発達特性と「支援のつながり」

《支援の目標》 生きづらさの軽減 ～その子らしくいきいきと～
(まずは「子ども理解」と早期発見)

- ・保護者は 課題が明確になる事でふっきれたり安心できたりするので 保護者が受け入れられるか様子を見ながら伝えていく必要がある。
- ・問題点ばかり伝えると保護者を追いつめてしまうので 弱い部分として強調するのではなく「本人らしさ」として認め理解していくように伝える

＊理解のない保護者の場合

- ・「この年齢ではこうあるべき」「出来るはず」とがんばらせてしまう
- ・その子にとっての目標設定に誤りが生じる
- ・同年齢の子と同じようにできない 理解しにくい行動への不安 母親の孤立(家庭内)
- ・本人の自身の喪失

☆診断の有無に関わらず子どもの発達特性への理解が大切であり その子に合った方法の提案が必要である。又、他児と同じでなくても この子のここが良いと伝え『子ども理解』をしてもらうことが大事である

☆幼児期に見せる子どもの様子は発達特性をとらえやすいので この時期からの『子ども理解』が重要で今有用であった支援を次のライフステージへつなげていくことが大切

《支援をつなぐ》 幼児期→小・中・高校→思春期→青年期

横の連携・場面や機関によって子どもや親の姿は異なる

- ・特定の機関でのアセスメントには限界がある
- ・多機関での関わりにより支援に広がりが見られる

縦の関係・移行期の支援は特に重要

- ・時期時期の環境によって子どもの困り感は変化する
- ・幼少期の育ちは発達特性を表している(育ちの流れでとらえる事がヒント)

《本人にとっての診断とは》 リスクもあるので 告知は慎重に

○得手不得手を認識し様々な選択の場面でより良い判断が可能になる

○自分を肯定できる力につながる。自分らしい自分づくり。不安からの離脱

○自ら相談できる動機をつくることのできる

【感想】

今回の講義を受けて 発達をつなぐ支援というものがいかに大切かを知りました。特に移行期に支援が途切れやすい事や個々の育ちによって支援の在り方を考え 個に応じた支援が必要ということも分かりました。最も重要とされる幼児期に携わる一人として『子ども理解』の大切さを学びました。

また、発達特性を「本人らしさ」として認め その子らしく生きること生活することができるよう保護者と共通理解しながら共に支援していくことが大切であることも学びました。

特に印象に残ったことばは「主となる集団を魅力的にすることで入りたいと思う環境を作る、工夫する」といわれたことで クラスの中の一人として他児とのつながりも深めて共に成長していけるような居心地の良い環境づくりも心がけていきたいと強く思いました。

専門的な視点から事例をまじえての講義で大変分かりやすく これからの支援のヒントや先を見据える視点をもつことの重要性も学べ 良い研修になりました。

(タンポポハウス 戸川 政代)